

令和5年度 事務事業評価シート（1）

[令和4年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	消防行政統合システム整備事業			事業番号	090-018
担当部署名	消防	局	警防	部	通信指令課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～	施策	(1) 自助・共助・公助のバランスのとれた防災・減災力の向上	
		寄与するKPI	有	取組の方向性	①危機対応力の強化			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—			
		寄与するKPI	無	現状値	—	目標値	—	

2	関連計画				
3	事業開始年度	平成 14 年度	点検対象年度	令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)				

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁			
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	消防行政統合システム（①消防指令管制システム②消防OAシステム③消防画像伝送システム）及び消防救急無線設備	対象数	単位	
			1	式	
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	消防行政統合システムの機能を維持し、当該システムを活用して効率的な消防業務が遂行できる環境を確保する。			
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	<p>現行の消防行政統合システムの定期点検・保守管理を実施すると共に、障害発生時等における迅速な修理・復旧を行っている。また、最新のICT技術を導入すると共に、長期使用による経年劣化や耐用年数を考慮し、定期的に機器を更新しており、平成30年度から2か年で当該システムの更新を実施した。</p> <p>令和2年度は、映像通報119を整備し運用を開始したほか、大阪狭山市からの消防事務受託に伴い、消防行政統合システムに大阪狭山消防署及びニュータウン出張所を追加し、119番通報受信も含めた指令体制の強化を図った。</p> <p>令和3年度は、堺市総合防災センター開所に伴い、消防行政統合システムを整備したほか、東消防署に設置していた無線基地局を当該センターに移設し指令体制の強化を図った。</p> <p>令和4年度から令和5年度にかけては、令和6年度に和泉市から消防指令業務を受託するために必要な消防行政統合システムの改修にかかる実施設計業務を実施中である。</p>			
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載				
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	株式会社日立製作所・富士通Japan株式会社			
10	公民連携・協働事業	特になし			

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績		目標	目標 点検対象年度	
	システムの安定稼働達成日数	日	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度	
			目標値	365	365	365	365
			実績値	365	365		
達成率	100%	100%					
	当該指標を選定した理由	消防行政統合システムは市民の生命・身体及び財産を火災等から保護することに直結しており、1日でもシステム停止等の重大障害を起こせないため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	システム停止等の重大障害の発生なく稼働させた日数					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標		
	年間保守点検の実施回数	回	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
			目標値	121	121	118	
			実績値	121	121		
達成率	100%	100%					
	当該指標を選定した理由	24時間365日安定稼働させるために必要な年間保守点検の実施回数					
	目標値の設定根拠・算出方法	安定稼働に必要な点検回数					

令和5年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	消防行政統合システム整備事業	事業番号	090-018
-------	----------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	142,529	341,788	259,269	211,690	304,648
13 財源内訳	国支出金				0
	府支出金				0
	市債	0	109,700	0	0
	その他 (和泉市負担金)				54,780
	受益者負担金(使用料、手数料等)				0
	一般財源	142,529	232,088	259,269	211,690
14 人件費 (b)	32,800	32,800	32,800	32,800	32,400
15 年間経費(c)=(a)+(b)	175,329	374,588	292,069	244,490	337,048

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費		うち一般財源	項目	年度	事業費		うち一般財源
		R4 決算	R5 予算				R4 決算	R5 予算	
16 事業費内訳	消防行政統合システム保守管理業務	R4 決算	75,151	75,151	衛星地球局保守業務ほか委託料	R4 決算	2,000	2,000	
		R5 予算	77,550	77,550		R5 予算	2,296	2,296	
	消防行政統合システム改修業務	R4 決算	17,853	17,853	役務費及び使用料及び賃借料	R4 決算	44,886	44,886	
		R5 予算	24,128	24,128		R5 予算	45,787	45,787	
	消防救急無線保守管理業務	R4 決算	67,897	67,897	消防救急無線直流電源装置蓄電池更新業務	R4 決算	0	0	
		R5 予算	66,210	66,210		R5 予算	30,000	30,000	
	無線中継車保守管理業務	R4 決算	3,713	3,713	PC・内線電話設定変更業務	R4 決算	0	0	
		R5 予算	3,897	3,897		R5 予算	0	0	
	消防行政統合システム改修(和泉市対応)に伴う実施設計業務	R4 決算	0	0	その他(備品購入費等)	R4 決算	190	190	
		R5 予算	54,780	0		R5 予算	0	0	

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和3年度	令和4年度
		① 年間保守点検の実施回数	回
② 上記①にかかる年間経費	千円	26,784	27,588
③ 単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	221,355	228,000
備考(算出についての説明等)			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	<p>職員による日々の機能点検、事業者による定期保守点検を実施することにより、年間を通じて消防行政統合システム及び消防救急無線設備を安定稼働させ、119番通報の確実な受信や消防救急活動の体制確保により、市民の安全・安心につながった。</p> <p>和泉市から消防指令業務を受託するために必要な消防行政統合システムの改修にかかる実施設計業務を令和5年度にかけて履行中であり、以降は当該設計業務の成果を受けて消防行政統合システムの改修を実施する計画である。</p>
----	--

KPI等への寄与(基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19	<p>堺市基本計画2025及び堺市SDGs未来都市計画の戦略等に基づき、各種災害等が発生した場合でも継続して消防行政統合システム及び消防救急無線設備で災害対応ができるようシステムの保守管理等を実施し、24時間365日安定稼働させたことで市民の安全・安心を確保した。</p>
----	--